

三鷹市障がい者地域自立支援協議会(令和8年度第1回)議事要旨

日時:令和8年6月16日(火)18時30分～20時30分

場所:教育センター3階 大研修室

出席者:

委員(22人)(順不同、敬称略)

岡本博照、大野通子、瀧澤勤、秋丸和俊、福原理絵、芳賀景子、平松百花、赤岡かおる、
土屋秀雄、小熊真樹子、小木曾淳、中野昭精、遠藤威俊、加藤亮一、宮尾絵里子、
海老原恵理子、鶴田明子、山崎智世、渡邊幸治、田中潔、真坂一穂、大澤里実

手話通訳者(2人)

東京都相談支援従事者現任研修生(6人)

事務局(24人)

河村市長、伊藤健康福祉部長、川口健康福祉部調整担当部長、
清水子ども政策部調整担当部長、鳶根障がい者支援課長、他19名

傍聴者:なし

<配布資料>

【資料2】委員名簿

【資料4-1】三鷹市障がい者地域自立支援協議会設置要綱

【資料4-2】三鷹市障がい者地域自立支援協議会について

【資料4-3】令和8年度主要事業の紹介

【資料5-1】第四期障がい者(児)計画スケジュール

【資料5-2】統計と実態調査からみた三鷹市の現状について

【資料5-3】令和7年度三鷹市障がい者等の生活と福祉の実態調査報告書(概要版)

【資料5-4】事業所調査の報告書

【資料5-5】令和6・7年度三鷹市のサービス実績

【資料6】地域課題の共有・協議について

(参考資料1)委員名簿(グループ分け)

(参考資料2)席次表

(参考資料3)事業所・関係機関等の紹介

(参考資料4)第1回タイムスケジュール

(参考資料5)三鷹市障がい者地域自立支援協議会への意見シート

(参考資料6)専門部会報告書

(参考資料6-2)相談支援部会事例検討会から見た地域課題のまとめ

<議事要旨>

1 市長挨拶

2 委員自己紹介

3 会長・副会長の選任

- ・ 事務局

本協議会は三鷹市地域自立支援協議会設置要綱により、会長及び副会長を委員の互選により選出することとなっている。会長の選出について、立候補・推薦はあるか。

- ・ A 委員

岡本委員にお願いしたい。

- ・ 事務局

岡本委員を推薦するという意見があったが、異議はないか。

異議がないので、岡本委員に会長をお願いする。次に、副会長の選出について、立候補・推薦はあるか。

- ・ B 委員

大野委員と瀧澤委員にお願いしたい。

- ・ 事務局

大野委員と瀧澤委員を推薦するという意見があったが、異議はないか。

異議がないので、大野委員と瀧澤委員に副会長をお願いする。

- ・ 会長、副会長

挨拶

4 報告事項について

- ・ 事務局

<委員の欠員について>

当事者委員が1名欠員となっている。候補者を探しており、決まり次第参加していただく。

<審議会からの委員の推薦について>

三鷹市健康福祉審議会委員に中野昭精委員を、人権を尊重するまち三鷹審議会委員に中野弘子委員を推薦している。

(1) 自立支援協議会について

- ・ 事務局
(資料4-1、4-2)に基づき説明

(2) 令和8年度主要事業の紹介

- ・ 事務局
(資料4-3)に基づき説明
- ・ 会長
副会長から補足はあるか。
- ・ A 副会長
専門部会について補足。これまで関わってきた相談支援部会では、切れ目のない支援を主軸に、児童から高齢分野の専門家等幅広い方々に参加してもらい、課題を抽出してきた。
今期も自立支援協議会委員を中心に委員ではない人にも参加してもらい、議論をしてほしい。
- ・ B 副会長
生活支援部会と当事者部会の2つの部会に参加してきた。複数の部会に参加することは非常に良い。時間があればぜひ参加してほしい。

5 第四期障がい者(児)計画について

- ・ 事務局
(資料5-1、5-2)に基づき説明
- ・ 会長
副会長から補足はあるか。
- ・ B 副会長

先に質問をする。(資料5-2)の障がいがある人のデータに難病の方のデータの記載がないのはなぜか。ぜひ追加してほしい。

- ・ 事務局

(資料5-2)は統計データをピックアップしたものであり、難病の方のデータを除いたというわけではない。

- ・ A副会長

計画相談の利用人数について、計画見込み値より減少しているが、ニーズがないわけではなく、相談支援専門員の不足や事業所の不足ということが関係している。

また、今回の資料のデータには載っていないが、地域移行・地域定着支援についても同様である。

委員としては、特定相談・一般相談の連携強化支援事業を三鷹市でも検討してほしい。

6 協議事項について

(1) 地域課題の共有・協議について(相談支援部会)

- ・ 会長

相談支援部会C委員より発表をお願いしたい。

- ・ C委員

(資料6、参考資料6-2)に基づき説明

相談支援部会では、一人ひとりの状況に応じた切れ目のないサポートの提供をメインに議論を重ねてきた。議論の中で出てきた課題から、現状の社会資源を把握するため、「地域資源の見える化」をテーマに今年度は議論をしていく。

本日の協議会では、「情報の集め方」、「どのような形(方法)だと情報が受け取りやすいか」、「それぞれがもっている社会資源の情報をどのような形(方法)だと共有しやすいか」の3点について意見交換をしてほしい。

- ・ 会長

それでは、相談支援部会の発表を受け、グループで自由に意見交換をお願いしたい。時間は20分とする。

(グループごとに意見交換)

- ・ 会長

各グループでの意見交換を踏まえて、全体で意見や感想、質問等をお願いしたい。

- ・ グループA D委員

情報の「集め方」というのは、事業所の考え方で、当事者の方々にとっては情報の「調べ方」という違いがあるのではないかと。ネットが普及しているが、情報量が多いため、情報を集める・調べるのにはやはり時間がかかる。

三鷹市の障がい者のためのしおりは情報量が多いが、(他市のしおりを例に挙げ)地域ごとにサービスをまとめてみるのはどうか。地域ごとにすることで、同じ地域にある事業者同士の連携がとれ、情報共有ができるのではないかと。他市のしおりを参考にしてほしい。

- ・ グループB E委員

まず、「どのような形(方法)だと情報が受け取りやすいか」について議論した。

当事者の方からはスマホで調べる、市役所の窓口に行って情報を得るという意見があったが、市役所の窓口に行くには、手話通訳者がいる日に合わせる必要があり、仕事を休まなければならない人もいます。手話通訳者を常時設置してもらうか、オンライン通訳があれば、情報の取得がしやすいという意見があった。

事業者側からは、事業者の管理者自身が社会資源についての知識がないので、利用者に伝えることができないという意見があった。学ぶ機会があれば、利用者に正確な情報を伝えることができるのではないかと。

その他には、当事者の方から、障がい者同士のコミュニティなどで情報共有を行いたいが、そのような場を探すのが難しいという意見があった。

次に、「それぞれがもっている社会資源の情報をどのような形(方法)だと共有しやすいか」については、障がい者のためのしおりを工夫するという意見があった。カラー印刷、ジャンル別にすることで情報を得やすくなるのではないかと。

- ・ グループC F委員

当事者の方からは、困ったら市役所の窓口に行き聞くのではないかとされているが、仕事がある人もいますのでなかなかそうはいかないという意見があった。前期の生活支援部会で議論をした「いつでも誰でも使える居場所」があれば、そこで相談・情報提供が行えるので理想であるが、実現は難しい。

その他には、相談者から聞く、自分自身で調べるという意見があった。

支援者側からは、必要な情報を得るのが難しいという意見があり、どのようにして情報を得るかについて研究している方がいるので、その方からお話を聞くというアイデアがあがった。

また、機関や事業所は職員の入れ替わりがあるので、どのように引き継ぐかについて課題があるという意見もあった。

福祉サービス事業所以外では、市内全域のネットワークがある民生児童委員や社会福祉協議会を活用していくという意見があった。

障がい者のためのしおりについては、しおりの存在を知らない人への PR 方法や、ネットでの検索をかけやすくするのはどうかという意見があった。

- ・ グループ D G 委員

「情報の集め方」という点について、支援者同士お互いが見える関係、お互いの役割理解し共有することが情報収集の第一歩ではないか。という意見があった。

また、ネット上の情報と知り合いからの口コミの両方から情報を得ているという意見が多くあった。

その他には、SNS の普及により、自分に必要な情報をキャッチしにくいという状況にあるが、正確な情報を得るためには、やはり人と人がつながることで関係ができ、情報のやり取りができるのではないか。

また、高齢者支援を例にあげると、地域包括という窓口があることで、アクセスのしやすさ、支援内容が重なっていることもあり、支援者同士カバーし合って、つながりができている。障がい者支援にもそのような窓口があればよいのではという意見があった。

- ・ 会長

発表した相談支援部会長から何か意見はあるか。

- ・ C 委員

皆様の意見に感謝する。

今年度は「地域資源のみえる化」をテーマに議論をしていくが、障がい者のためのしおりの活用、地域性にこだわること、事業者・支援者の知識不足、SNS の普及、正しい情報を得るためには顔が見える関係を大切にしていくこと、など多くのヒントをもらうことができた。

- ・ 会長

B 副会長から一言お願いしたい。

- ・ B 副会長

災害時の情報など、福祉の分野以外の情報発信の仕方についても考えてほしい。

7 その他

各専門部会での顔合わせ

- ・ 会長

予定していた議事は修了した。追加でご意見があれば、意見シートなどで事務局まで提出してほしい。

これをもって、第1回自立支援協議会を閉会する。